

平和祈念交流展

マンガとモノが語る

シベリア 抑留

東京の平和祈念展示資料館が所蔵する
戦後強制抑留を伝えるモノ資料を、
抑留体験者が描いたマンガとともに展示します。



2019 6.1^土 - 9.29^日
会期中無休

9:00 - 17:00 (入館は16:30まで)

入館料：大人(大学生以上) 600円、高校生 500円、小中学生 400円

※15名以上団体割引各100円引き ※障がい者割引あり

主催：筑前町、平和祈念展示資料館(総務省委託)

後援：福岡県、福岡県教育委員会

会場

筑前町立大刀洗平和記念館

〒838-0814 福岡県朝倉郡筑前町高田2561-1

TEL: 0946-23-1227 FAX: 0946-23-9009

アクセス

▶車：大分自動車道筑後小郡ICまたは甘木ICから10分
国道500号線沿い、太刀洗駅前交差点すぐ

▶JR：鹿児島本線基山駅にて甘木鉄道乗り換え、太刀洗駅下車すぐ

▶西鉄電車：小郡駅から甘木鉄道に乗り換え、太刀洗駅下車すぐ



マンガとモノが語る

平和祈念交流展

シベリア抑留



手製の食器類



袖なしの防寒外套

手製の湯呑

紙芝居『シベリア抑留の話』より 斎藤邦雄 画

平和祈念展示資料館（東京）では、戦争体験者の労苦を伝える活動のひとつとして他館との交流事業を行っています。この度は、大刀洗平和記念館と連携し展示会を開催します。

戦争が終結したにもかかわらず、シベリアをはじめとする旧ソ連やモンゴルの酷寒の地に抑留され、乏しい食糧と劣悪な生活環境の中、過酷な強制労働に従事させられた「戦後強制抑留者」は約57万5千人におよびます。そのうち約5万5千人が栄養失調や伝染病などで命を落としました。

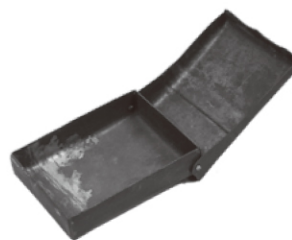
本交流展では平和祈念展示資料館が所蔵する戦後強制抑留を伝えるモノ資料と、抑留体験者が自身の体験に基づいて描いたマンガ作品を交差させながら紹介します。



紙芝居『望郷』より 斎藤邦雄 画



俘虜用郵便葉書



手製マホルカ入れ



ソ連の女性軍医から贈られた人形

関連イベント [会場：大刀洗平和記念館]

※参加無料、ただし要入館料

■ **ギャラリートーク** 日時：6月1日(土) 11:00～ / 13:00～ (各回約30分)
※予約不要 平和祈念展示資料館の学芸員が展示解説を行います。

■ **上映会** 映画：「私はシベリヤの捕虜だった」 昭和27(1952)年公開
※予約不要 抑留中の過酷な日々を描いたセミドキュメンタリー映画。 製作：シュウ・タグチ・プロダクションズ
日時：7月14日(日)、9月15日(日) 各日14:00～ (上映時間86分) 監督：阿部豊・志村敏夫

■ **抑留体験者による講演会** 出演：鳥谷 邦武さん(佐賀市在住)
※要予約・定員150名 特攻隊とシベリア抑留の体験を語ります。
日時：8月3日(土) 13:30～ (約60分)
12:30 ▶ 受付開始 13:15 ▶ 開場
●開場時間までに受付をお済ませください。
●座席は主催者側で指定させていただきます。
○大刀洗平和記念館スタッフが聞き手となって進行します。

講演会予約・お問い合わせ

6月1日(土)より以下の電話、FAX、メールのいずれかの方法でご予約ください。その際、代表者の方のお名前と参加人数、電話番号をお伝えください。

▶大刀洗平和記念館
TEL:0946-23-1227 FAX:0946-23-9009
メール: tachiarai-heiwa@jewel.ocn.ne.jp

筑前町立大刀洗平和記念館

福岡県朝倉郡筑前町高田2561-1
TEL:0946-23-1227 <http://tachiarai-heiwa.jp>

平和祈念展示資料館(総務省委託)

東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル33階
TEL:03-5323-8709 <https://www.heiwakinen.go.jp>